



TITLE:

扉・目次・執筆者一覧・奥付

AUTHOR(S):

CITATION:

扉・目次・執筆者一覧・奥付. チベット・ヒマラヤ文明の歴史的展開
2018

ISSUE DATE:

2018-03-31

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/235446>

RIGHT:

京都大学人文科学研究所共同研究報告

チベット・ヒマラヤ文明の歴史的展開

The Historical Development of Tibeto-Himalayan Civilization

岩尾一史・池田 巧 編

IWAO Kazushi, IKEDA Takumi (eds.)

チベット・ヒマラヤ文明の歴史的展開 目次

序	岩尾一史 …… 1
[歴史]	
古チベット語史料からみた10世紀前半の青海東部地域	岩尾一史 …… 7
モンゴル時代のチベットにおける都元帥	山本明志 …… 25
内秘書院モンゴル文檔案にみる	
17世紀アムド東部のゲルク派諸寺院と清朝	池尻陽子 …… 39
青海ホシュート部のアムド・チベット人支配の確立と清朝	岩田啓介 …… 65
カトマンドウの仏塔へのチベット人巡礼者と 清朝の対チベット政策	小松原ゆり …… 85
The Tibet-Japan Relations in the Era of the 1911 Revolution —— Tibetan Letters from the Aoki Bunkyo Archive —— KOBAYASHI Ryosuke …… 101	
[社会]	
チベット旧社会の村落構造をめぐって ——ダライ・ラマ政権の村落支配——	大川謙作 …… 123
ポスト王政期ネパールにおける“仏教の政治”と ヒマラヤ仏教徒の社会参画	別所裕介 …… 143
「作る」と「パくる」の狭間で ——チベタン・ポップをめぐる権利言説と実践から見る難民社会の今——	山本達也 …… 175
神霊ルーをめぐるローカリティの再編 ——インド北東部モンパ社会の事例から——	長岡 慶 …… 203
ボン教における「僧侶」の諸相 ——20世紀以降の変容に着目して——	小西賢吾 …… 229

[宗教]

チベットの『メーガ・ドゥータ』 根本裕史 …… 245

越境する梵文写本

——中世のヒマラヤ地域と南アジアにおける物と人の交流の一側面——

加納和雄 …… 261

ドゥク派開祖ツァンパギャレー（1161-1211）の伝記研究

——ブータン仏教のルーツ——

熊谷誠慈 …… 279

チベット語ト占書中の神格

——その効果と意義についての一考察——

西田 愛 …… 311

The Bka'gdams chos 'byung Genre and the Newly Published

Ye shes erse mo's Bka'gdams chos'byung'

IUCHI Maho …… 337

[言語]

チベット語の未完了継続相の助動詞句の歴史的推移

——古チベット語から現代チベット語まで——

星 泉 …… 357

アムド・チベット語におけるヤクの呼び分け

——青海省ツェコ県の事例を中心に——

海老原志穂 …… 381

On a Factor for the Occurrence of Variant Readings
in the Tibetan Canon

ONODA Shunzo …… 401

A Phonological Sketch of a Tibetan Khams Dialect
Spoken in Mingyong Village in the Yunnan bDe chen
Tibetan Autonomous Prefecture

IKEDA Takumi …… 413

跋

池田 巧 …… 439

執筆者一覧

441

チベット・ヒマラヤ文明の歴史的展開

執筆者一覧

* アイウエオ順：2018年3月現在の所属と主要な研究業績3点を掲載しています。

- 井内 真帆 IUCHI Maho (神戸市外国語大学・客員研究員／青海民族大学宗喀巴研究院・客座研究員)

- (2016a) *An Early Text on the History of Rwa sgren Monastery: The Rgyal ba'i dben gnas rwa sgren gi bshad pa nyi ma'i 'od zer of 'Brom shes rab me lce* (Harvard Oriental Series, vol.82). Cambridge MA / London UK: Harvard University Press.
- (2016b) *Tibetan Texts from Khara-khoto in the Stein Collection of the British Library*. TAKEUCHI Tsuguhito [coauthor] *Studies in Old Tibetan Texts from Central Asia* Vol.2 (Studia Tibetica No.48) Tokyo: Toyo Bunko.
- (2011) 『西藏仏教宗義研究第九卷—トゥカン『一切宗義』『カダム派の章』—』 (Studia Tibetica No.44) 吉水千鶴子 [共著] 東京：東洋文庫。

- 池尻 陽子 IKEJIRI Yoko (関西大学文学部・准教授)

- (2013) 『清朝前期のチベット仏教政策—扎薩克喇嘛制度の成立と展開—』 東京：汲古書院。
- (2012) 成立初期の清朝におけるアムドの寺院と僧たち、『日本西藏学会会報』58：53-68頁。
- (2008) 康熙朝におけるチャンキャ二世ガワン＝ロサン＝チューデンの北京招請、『内陸アジア史研究』23：49-69頁。

- 池田 巧 IKEDA Takumi (京都大学人文科学研究所・教授)

- (2017) 俯瞰藏羌彝走廊の語言分布及其相關的研究課題，張曦、黃成龍 [主編] 《地域社会深描藏羌彝走廊研究新視角》 北京：社会科学文献出版社、001-019頁。
- (2013) ムニャ語の述詞と文，澤田英夫 [編] 『チベット＝ビルマ系言語の文法現象2：文の特徴付けと下位分類』 東京外国語大学アジアアフリカ言語文化研究所、365-390頁。
- (2003) 『活きている文化遺産デルゲパルカン—チベット大蔵経木版印刷所の歴史と現在』 中西純一、山中勝次 [共著] 東京：明石書店。

■ 岩尾 一史 IWAO Kazushi (龍谷大学文学部・准教授)

- (2016) 9世紀の歸義軍政權と伊州：Pelliot tibétain 1109を中心に、『敦煌寫本研究年報』10：341-356頁。
- (2014) 古代チベット帝国の外交と「三国会盟」の成立、『東洋史研究』72-4：1-33頁。
- (2012) Organisation of the Chinese Inhabitants in Tibetan-ruled Dunhuang. Scherrer-Schaub, C. [ed.] *Proceedings of the 10th Seminar of International Association for Tibetan Studies: St. Hugh's College*. Oxford, E. J. Brill: 65-75.

■ 岩田 啓介 IWATA Keisuke (東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所・日本学術振興会特別研究員)

- (2016) 雍正年間における清朝の青海モンゴル支配の実態—統属関係への介入と盟旗制の運用を中心として—、『東洋学報』98-1：124-99頁(横組)。
- (2012) ラサン＝ハンによる新ダライ＝ラマ六世ガワン＝イエシェー＝ギャムツォ擁立の背景—ラサン＝ハンと青海ホシュート部酋長層の抗争との関連から—、『内陸アジア史研究』27：1-18頁。
- (2009) 新ダライ＝ラマ六世認定をめぐる清朝の対青海ホシュート部・チベット政策、『満族史研究』8：1-23頁。

■ 海老原 志穂 EBIHARA Shiho (東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所・ジュニアフェロー)

- (2018) Amdo Tibetan. Tsunoda, Tasaku [ed.] *Levels in Clause Linkage*. Mouton de Gruyter. 451-484.
- (2017) ヤクの名は。FIELDPLUS 17：6-7頁。
- (2010) 『アムド・チベット語の発音と会話』東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所。

■ 大川 謙作 OKAWA Kensaku (日本大学文理学部・准教授)

- (2016a) A Study on *Nang zan*: On the Reality of the “Servant Worker” in Traditional Tibetan Society. *Revue d'Études Tibétaines* 37: 278-292.
- (2016b) 「包摂の語り」とその新展開：チベットをめぐる国民統合の諸問題、『史潮』79：51-81頁。
- (2015) トンドゥプジャとインド的伝統：チベット現代文学の誕生をめぐって、『中国21』43：223-242頁。

■ 小野田 俊蔵 ONODA Shunzo (佛教大学歴史学部・教授)

- (2011) De'u dmar dge bshes's method of compounding colours, lac-dye brown, vermilion brown and the colours derived from them. Erberto Lo Bue [ed.] *Art in Tibet. Issues in Traditional Tibetan Art from the Seventh to the Twentieth Century*. The Proceedings of the 10th Seminar of the International Association for Tibetan Studies (Oxford, 2003). Leiden: Brill.
- (2009) The Meiji Suppression of Buddhism and Its Impact on the Spirit of Exploration and Academism of Buddhist Monks. Monica Esposito [ed.] *Images of Tibet in 19th and 20th Centuries*. vol.1. *Études Thématiques* 22. Paris: École Française D'Extrême-Orient.
- (1992) *MONASTIC DEBATE IN TIBET. A Study on the History and Structures of bsDus grwa Logic*. Wiener Studien zur Tibetologie und Buddhismuskunde, Heft 27.

■ 加納 和雄 KANO Kazuo (駒澤大学仏教学部・講師)

- (2016) *Buddha-nature and Emptiness: rNgog Blo-ldan-shes-rab and a Transmission of the Ratnagotravibhāga from India to Tibet*. Vienna: Vienna Series for Tibetan and Buddhist Studies.
- (2014) 『宝性論』の展開。下田正弘 [編] 『シリーズ大乘仏教第八巻・如来蔵と仏性』東京：春秋社、206-247頁。
- (2012) アティシャに由来するレティン寺旧蔵の梵文写本—1934年のチベットにおける梵本調査を起点として—。『インド論理学研究』IV：123-161頁。

■ 熊谷 誠慈 KUMAGAI Seiji (京都大学こころの未来研究センター・准教授)

- (2014) *Bhutanese Buddhism and Its Culture*. [ed.] Kathmandu: Vajra Books.
- (2011a) *The Two Truths in Bon*. Kathmandu: Vajra Books.
- (2011b) Revisiting Tibetan Religion and Philosophy. Deroche, M.-H., Schapiro, J., Kumagai, S., and Gurung K. N. [eds.] *Revue d'Études Tibétaines*. 22.

■ 小西 賢吾 KONISHI Kengo (金沢星稜大学教養教育部・専任講師)

- (2015a) 『四川チベットの宗教と地域社会—宗教復興後を生きぬくボン教徒の人類学的研究』東京：風響社。
- (2015b) 再編される共同性と宗教指導者の役割—中国、四川省のチベット社会を事例に。藤本透子 [編] 『現代アジアの宗教—社会主義を経た地域を読む』横浜：春風社、309-365頁。

- (2014) Inter-regional relationships in the creation of the local Bon tradition: A case study of Amdo Sharkhog. 『日本西藏学会会報』 60: 149-161頁。

■ 小林 亮介 KOBAYASHI Ryosuke (九州大学比較社会文化研究院・専任講師)

- (2016) The Lungshar Delegation and Britain in 1913: Focusing on the Letters of the 13th Dalai Lama. *Inner Asia* 18: 288-308.
- (2014a) チベットの政治的地位とシムラ会議：翻訳概念の検討を中心に、岡本隆司〔編〕『宗主権の世界史：東西アジアの近代と翻訳概念』名古屋大学出版会、262-290頁。
- (2014b) プンツォク・ワンギェル：チベット「周縁部」における共産主義と民族主義、趙景達ほか〔編〕『講座東アジアの知識人⑤：さまざまな戦後』有志舎、352-368頁。

■ 小松原 ゆり KOMATSUBARA Yuri (明治大学文学部・非常勤講師)

- (2017) グルカの貢象と清朝の対応について—乾隆57年・60年の朝貢を例に一、『駿台史学』 159：66-88頁。
- (2016) A Study of the Treaty of the First Tibet-Gurkha War of 1789. Saul Mullard & Jeannine Bischoff [eds.] *Social Regulation: Case Studies from Tibetan History*. Leiden: E. J. Brill. 181-196.
- (2014) The Political Relationship between Tibet and the Qing Dynasty in the Latter Half of the Eighteenth Century and the Nineteenth Century: An Analysis of How bka'-blon was Chosen. 『神戸市外国語大学外国学研究所研究年報』 51: 201-217頁。

■ 長岡 慶 NAGAOKA Kei (京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科博士課程)

- (2013a) Repairing Everyday Ruptures: Tibetan Medicine in Tawang, India. *Ruptures and Repairs in South Asian History*. Onta, Prayoush and Yogesh Raj [eds]. Kathmandu: Martin Chautari. 145-166.
- (2013b) チベット医学の歴史的展開と東ヒマラヤにおける実践、『環インド洋地域における宗教復興・テクノロジー・生命倫理』小杉泰〔編〕京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科附属イスラーム地域研究センター・同附属現代インド研究センター、165-180頁。
- (2013c) 『東ヒマラヤにおける飲食文化と健康—ネパールの酒づくりと利用に関する医学・栄養学・人類学による複合研究—』石本恭子、木村友美〔共著〕京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科フィールドワーク・インターンシップ支援室。

■ 西田 愛 NISHIDA Ai (神戸市外国語大学・客員研究員)

- (2017) 敦煌出土銅銭占ト文書について、『敦煌寫本研究年報』11：135-152頁。
- (2016) Old Tibetan Scapulimancy. *Revue d'Études Tibétaines* 37: 262-277.
- (2014) Bird Divination in Old Tibetan Texts. Tsuguhito Takeuchi, Kazushi Iwao, Ai Nishida, Seiji Kumagai, and Meishi Yamamoto [eds.] *Current Issues and Progress in Tibetan Studies: Proceedings of the 3rd International Seminar of Young Tibetologists*. 『神戸市外国語大学研究年報』51：317-342頁。

■ 根本 裕史 NEMOTO Hiroshi (広島大学大学院文学研究科・教授)

- (2016) 『ツォンカパの思想と文学—縁起讃を読む—』京都：平楽寺書店。
- (2013) Who is a Proper Opponent? The Tibetan Buddhist Concept of *phyi rgol yang dag*. *Journal of Indian Philosophy* 41-2：151-165.
- (2011) 『ゲルク派における時間論の研究』京都：平楽寺書店。

■ 別所 裕介 BESSHO Yusuke (駒澤大学総合教育研究部・准教授)

- (2017) 聖地を切り売りする人々—現代チベットの経済開発と民衆的信仰空間の特性。『宗教研究』91-2：201-228頁。
- (2015) チベット問題をめぐる宗教と政治—ダライラマの非暴力運動とのかかわりから—。櫻井義秀・外川昌彦・矢野秀武 [編] 『社会参加仏教—アジアにおける宗教と政治』北海道大学出版会。127-160頁。
- (2013) 『ヒマラヤの越境者たち—南アジアの亡命チベット人社会』大阪：デザインエッグ社。

■ 星 泉 HOSHI Izumi (東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所・教授)

- (2016) 『古典チベット語文法：『王統明鏡史』(14世紀)に基づいて』東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所。
- (2015) 『チベット文学の新世代 雪を待つ』ラシャムジャ [著] 星泉 [訳] 東京：勉誠出版。
- (2003) 『現代チベット語動詞辞典 (ラサ方言)』東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所。

■ 山本 達也 YAMAMOTO Tatsuya (静岡大学人文社会科学部・准教授)

- (2017) Lyrics matters: Reconsidering Agency in the Discourses and Practices of Tibetan Pop Music among Tibetan refugees. *Revue d'Études Tibétaines* 40: 126-

152.

- (2016) Selling Healing: A Case Study of Tibetan Chanting CD Production in Kathmandu. Charles Ramble and Ulrike Roeslar [eds.] *Tibetan and Himalayan Healing: An Anthology for Anthony Arias*. Kathmandu: Vajira books. 719-738.
- (2013) 『舞台の上の難民—チベット難民芸能集団の民族誌』 京都：法蔵館。

■ 山本 明志 YAMAMOTO Meishi (大阪国際大学グローバルビジネス学部・准教授)

- (2017) 『元典章が語ること—元代法令集の諸相—』 [共著] 大阪：大阪大学出版会。
- (2011) 13・14世紀モンゴル朝廷に赴いたチベット人をめぐって. 『待兼山論叢』 45 (史学篇) : 27-52頁。
- (2008) モンゴル時代におけるチベット・漢地間の交通と站赤. 『東洋史研究』 67-2 : 95-120頁。

チベット・ヒマラヤ文明の歴史的展開

The Historical Development of Tibeto-Himalayan Civilization

2018年3月31日 発行

編集 岩尾一史・池田 巧

IWAO Kazushi, IKEDA Takumi (eds.)

発行 京都大学人文科学研究所

Institute for Research in Humanities, Kyoto University

製作 株式会社 臨川書店

〒606-8204

京都市左京区田中下柳町8番地

RINSEN BOOK CO.

8 Tanaka-Shimoyanagi-cho, Sakyo-ku,
Kyoto 606-8204 JAPAN